

大学院の概要

1 大学院の基本「芸術工学」

神戸芸術工科大学の建学精神にもとづく大学院芸術工学研究科は、修士課程・総合アート&デザイン専攻と博士後期課程・芸術工学専攻から構成され、「芸術工学」に基礎をおく実践的教育・研究活動を行っています。

芸術工学とは、「科学と技術」「人間と歴史」「芸術と文化」が融合する研究分野であり、分野をつなぐ研究によって新たな価値を生み出す力を持っています。大学院では、社会につながる創造性を探究していきます。

＜神戸芸術工科大学の建学精神＞

学校法人谷岡学園は「世に役立つ人物の養成」を建学の理念としています。

そのために、(1) 思いやりと礼節 (2) 基礎的実学 (3) 柔軟な思考力 (4) 楽しい生き方を実践しています。

(1) 「思いやりと礼節」とは、世の役に立つには、単なる技能や実力の前に、まず人間として立派であることが求められ、そのための思いやりと礼節が大切であるということです。

(2) 「基礎的実学」とは、社会に出て必要な知識・技能・資格の修得をめざすということです。

(3) 「柔軟な思考力」とは、時間的、空間的、思想的に広い視野をもち、既存の常識にとらわれない柔軟さをもった適応力と創造性を身につけることです

(4) 「楽しい生き方」とは、目的意識を持って自ら楽しく同時に他人をも楽しくさせることのできるプラス思考の人間形成を目指すことです。

2 大学院が求める人材（アドミッションポリシー）

デザインやアートの専門的研究と理論の深化を通して創造性豊かな研究者を育て、また、現代の多様化した環境とシステムに対応できる知識・能力・技術を備えた実践的な戦略を立てられる総合的なデザイナー・アーティストの養成をめざしています。大学院修士課程および博士後期課程では、以下のような目的を持って意欲的に取り組む人を求めています。

■芸術工学専攻（博士後期課程）

- ・「芸術工学」を基盤にして知識基盤社会を多様に支える人
- ・デザインやアートの学術活動を通して、創造性豊かな研究開発に意欲のある人
- ・確かな教育能力並びに研究能力を兼ね備えた高等教育の教員を目指す人

■総合アート&デザイン専攻（修士課程）

- ・デザインやアートの制作活動や学術活動を通して、創造性豊かな感性を備える人
- ・現代の多様化した環境とシステムに対応するための高度な専門知識・能力・技術に高い関心を持ち、それらを身につけたいと求めている人
- ・実践的な構想及び戦略を計画・立案できる総合的なデザイナーを目指す人
- ・高度なアートの専門知識および卓越した表現能力・技術を備えた総合的なアーティストを目指す人

3 大学院の構成

大学院芸術工学研究科は、修士課程（総合アート＆デザイン専攻）と博士後期課程（芸術工学専攻）から構成され、学部で養った専門性を高めつつ、分野をつなぐことから生まれる創造性を広げます。多様化する地域環境や情報および社会の課題領域に対して、デザインとアートのもつ構想力・コミュニケーション力・創造性にもとづく新たな取り組みの可能性を示すことにより社会に貢献する実践的教育と研究活動を行います。

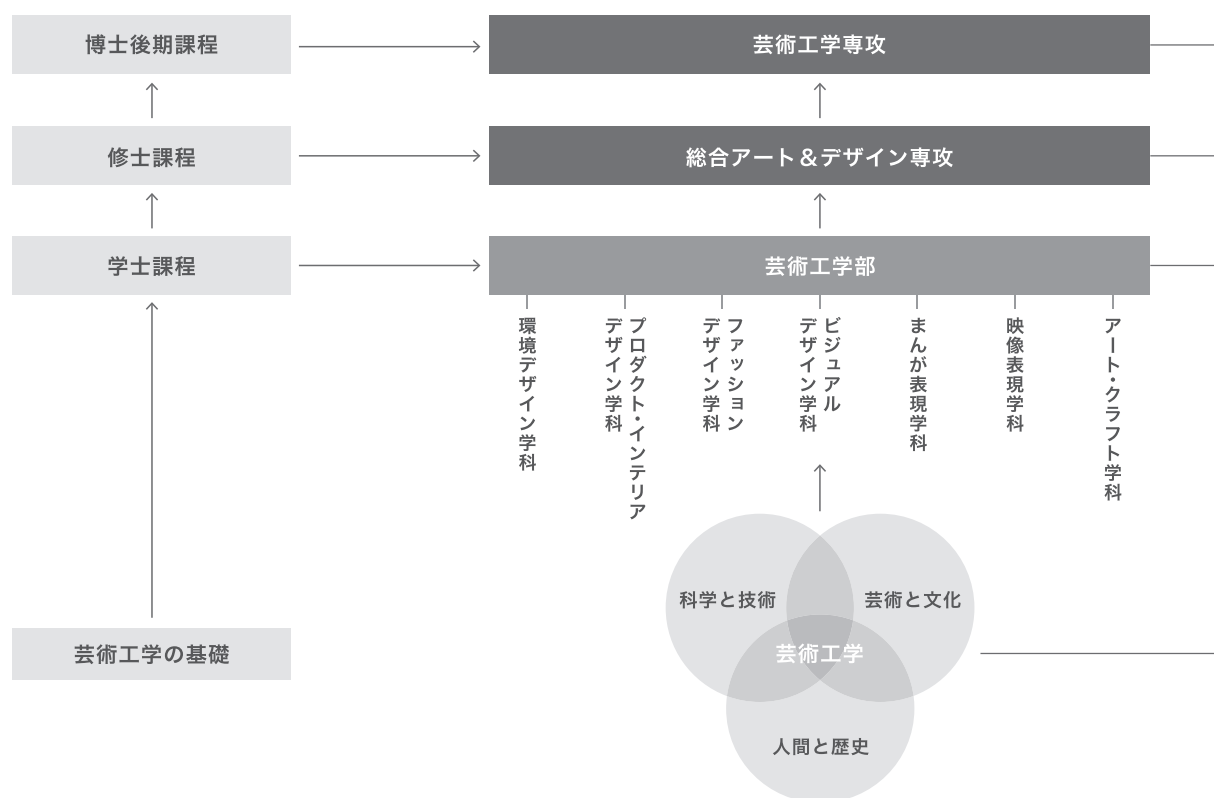
修士課程 総合アート＆デザイン専攻

「科学と技術」「人間と歴史」「芸術と文化」が融合する「芸術工学」に基礎をおき、社会とつながる実践的教育と研究活動をととして、デザインとアートにおける構想力・コミュニケーション力・創造性を高めることをめざしています。芸術工学の先端の知を学び、創造的实践を経験するなかで、自ら考え問いをたて、新しい表現やデザインの可能性を見つける力を養い、そこから多様な個性と国際性豊かな創造活動を通じて社会に貢献する人材を育てます。

博士後期課程 芸術工学専攻

芸術工学は、幅広い学びと分野をつなぐ研究によって新たな価値を生み出す力があると社会から期待されています。博士後期課程では、これまで修得してきたアートやデザインの専門性を深めるとともに、新たな価値やものの見方を生み出すような斬新な研究テーマを見出し、研究・開発に取り組むことにより、個性豊かな研究者を養成します。それはまた、魅力的で行動力のある教育者の育成にもつながる取り組みです。

海外からの留学生も多く、国際的に活躍しています。



4 カリキュラムの特色（カリキュラムポリシー）

『芸術工学』の基盤となる深い専門知識と豊かな芸術的感性を持つ総合的なデザイナーやアーティストの育成、さらには高度な研究開発能力を持つ研究者や、確かな教育能力を兼ね備えた教育者の養成を目指します。時代や社会が求める多様な「科学と技術」の活用を、人間の立場から総合的に「発想」し、「構成」「計画」し、「表現」「造形」するカリキュラムを編成し、「芸術と文化」「人間と歴史」「科学と技術」の諸科学と合わせて総合的に研究指導を行います。

修士課程 総合アート&デザイン専攻

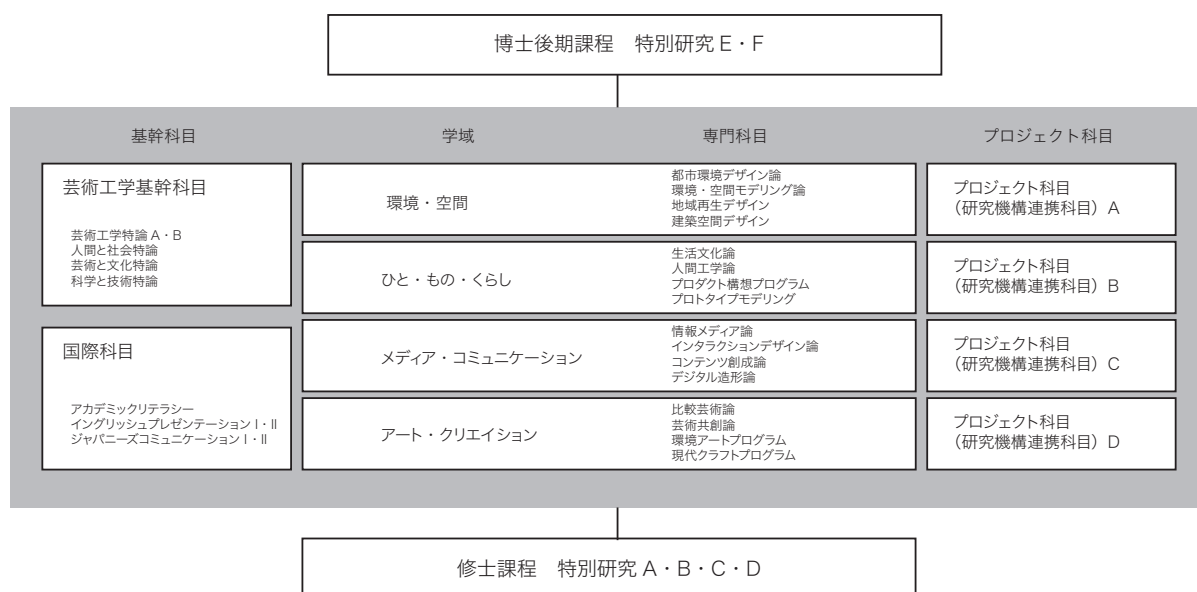
2020 年度よりカリキュラムが新しくなります。

基幹科目では、総合的な「芸術工学特論 A・B」と分野別の「科学と技術特論」「人間と社会特論」「芸術と文化特論」により科学とアート・デザインが融合する「芸術工学」の中心的な考え方を学びます。各学域に対応する専門科目と社会的課題や国際的活動を対象とした芸術工学研究機構連携のプロジェクト科目により、知的素養、アートとデザインの専門性、そして分野を超えた構想力・実践力を高めます。修士課程における研究・制作の成果は特別研究として論文または作品としてまとめます。また、1 年短縮修了を可能とするカリキュラム構成となっています。

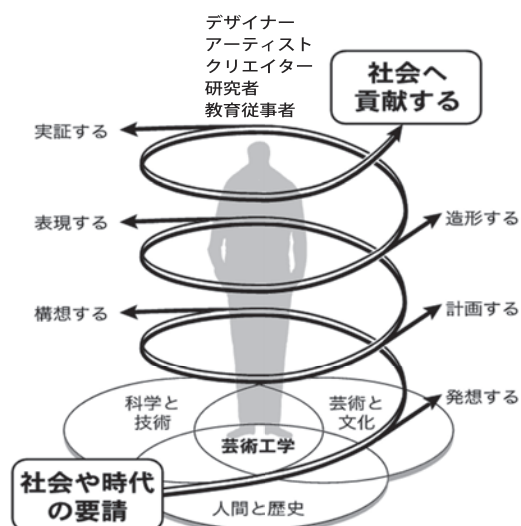
（修業年限 1 年短縮には必要な条件がありますので、大学院事務室にお問い合わせください。）

博士後期課程 芸術工学専攻

個々の研究課題を調査・研究および創造実践を重ねるなかで、自らの課題の認識を深め、いくつかの分析手法を試行し、そこから見出した知見を展開する力を養っていきます。必要な知識については、修士課程カリキュラムから科目選択できるようになっており、また、研究機構と連携するプロジェクト科目が研究活動を支援します。特別研究では、創造的で独自性のある研究を求めています。



大学院のカリキュラムは、社会や時代の要請に応え、総合的に「発想」「構想」「計画」「表現」「造形」とともに、そうした成果を「実証」することにより社会に貢献するアカデミックアクティビティを編成するものとなっています。



5 大学院の学位授与の方針（ディプロマポリシー）

大学院は、現代の状況に即応するデザイン理論の深化により「芸術工学」の学問的確立を図り、その専門的研究を通して創造性豊かな研究者ないしは指導的実務者を養成します。あわせて、多様化したデザイン環境に対応するため、高度な専門的知識・能力・技術を備え総合的視野をもつデザイナーを養成することを、教育・研究目標としています。それらを実現するためのカリキュラムを編成し、所定の単位を修めるとともに修士研究または博士論文の審査に合格した学生に対して、修了を認定し学位を授与します。